



# 「それ、舛添さんの話？」

## 細江市長の公用車使用での発言巡って市民の声・・・

ある市民との食事中の会話です。6月21日の岐阜新聞記事を「こんな記事がある」と声を出して読んであげました。「人間ドック受診時の公用車利用には『24時間365日、対応が期待されている特別公務員の私の健康維持は市民にとって大変重要なことだろう』とした。」と。「それ、舛添さんの話？」(Nさん)と聞き返してきました。「いや、いや、細江市長さんの話です。」(松原のりかず)田中成佳議員質問に関する細江市長のコメントと説明すると「そんなこと言ったら、何でも使えるがネ」(N)と。更に「テレビ観ないのやろか？ 舛添さんの話(公私混同)から、なんで学ばないのやろ？」(N)・・・。

### 危機管理？

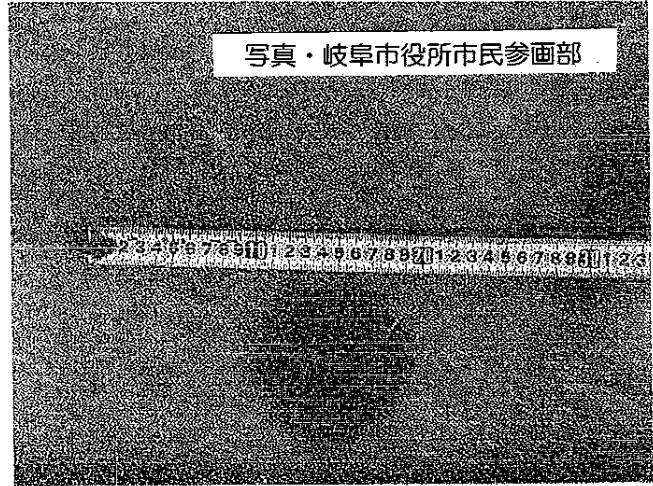
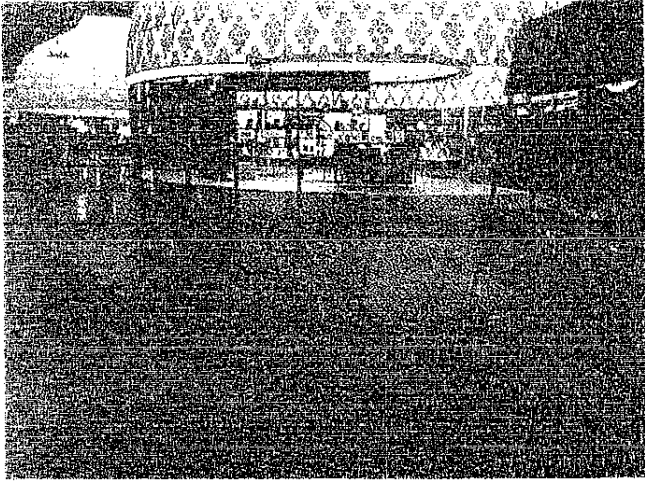
常に連絡を取れる体制は大切です。人間ドックが市民病院なら、病院事務局もあり常時連絡は可能です。緊急移動でも病院公用車もあり「動く市長室」(市長車)の代行も可能でしょう。「私の健康維持」を「全市民の健康とイコール」と市民の理解を得られるか？ です。タクシーではダメなの・・・？ の声。

市長車の行動記録を「危機管理」を理由に「市内」として、それ以上明らかにしない市長公室に対し、田中議員が憤慨していました。これから行く所のルートは危機管理としても、過去の記録も「危機管理」が「行動を明らかにしない」理由になるのでしょうか？ なるとすると、都合の悪い行動記録への批判を恐れる事かもしれません。「政治姿勢批判への危機管理」なのではないでしょうか。

03年3月議会で話題になりましたが、市職員400人以上が混乱回避で対応していた日教組教育集会開催中に「細江市長が下呂温泉に避難」していた事件では「警察の助言で下呂温泉に避難した」(市長)の答弁。が、県警は「助言していない」と答えていると報道されています。この事件のとき「市長が市内にいない」ことを教育委員会は把握していませんでした。別件で、松原のりかずが、ある時、市内に3役が1人もいない日が出来たことを「危機管理対応不備」と質問したこともあります。「危機管理」の言葉を自分の都合で「使い分け」されても困ると、市民の声が聞こえて来ます。

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

## 25日 メディアコスモスで、新たに漏水発生



6月25日(土)メディアコスモスで「天井から水が落ちて来るのを発見」との報告がもたらされました。発見は同日13時頃、場所は2階の中央図書館の貸出・返却カウンター付近(写真左)漏水(写真右)は床に染み、約10cm円形。漏水の量は10～15分に1滴程度床面に落下(市民参画部)。

今日まで10箇所19回の漏水報告がされています。新箇所なら11箇所20回目の漏水。24日夜から25日早朝に掛けて岐阜市は豪雨で、松原のりかずは雨漏りの疑いを深くしました。6月議会で多数議員の質問があり、文教委員会では23日に1年目点検の報告(不良23項目570箇所)がされたばかりでした。メディアコスモスについては現在、住民監査請求が起こされ「メディアコスモスは未完成品であり、建設当時の技術職最高責任者と市長に対し最終払い分24億3729万円を岐阜市へ共同して支払え」と要求されています。



松原のりかず  
☎058-253-2500